

## 令和3年度 第2回 台東区地域包括支援センター運営協議会 議事概要

日時：令和4年2月21日（月） ※新型コロナウイルス感染防止対策のため書面開催

出席者：17名

新田委員 須田委員 加藤委員 木山委員 中富委員 川又委員 山村委員  
石井委員 宮本委員 小竹委員 平野委員 澤瀉委員 柴田委員 和泉澤委員  
武田委員 原嶋委員 高木委員

### ●令和4年度 台東区地域包括支援センター運営方針（案）について 資料1

令和4年度は大きな変更は行っておりませんが、実情に即した形で文言の変更や追加、業務順序の変更を行っております。（修正箇所は『台東区地域包括支援センター運営方針の変更点』参照）。

#### 【委員からの意見と回答】

・介護予防・日常生活支援等、たくさんの課題があり大変なことと思います。いろいろな事例が早く発見できるように介護支援専門員の育成も大切なことと思いました。

・P.10（4）自立した生活→ご本人の希望と実際の体力・知力・動作などを含めた差をどこまで支援できるか悩むところだと思いました。

・全体を通し現状に合わせた実施案の多さに驚いています。皆様ご苦労様です。ありがとうございます。

・地域包括支援センターの人員構成で業務が多岐、多様な上に多すぎるのではないかと。また、予防ケアマネジメントにおいては、ケアプランについての情報提供や意見聴取などの医療との連携が一部しか実施できていない状況なので事業所の職員に周知したいと思います。

### ●令和4年度 台東区地域包括支援センター事業計画書について 資料2

各地域包括支援センターが、次年度の計画書を作成したものです。

認知症カフェや高齢者宅への見守り訪問、高齢者に関する総合的な相談等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、事業を着実に実施してまいります。また、ICTの活用も進めてまいります。

#### 《主な取組》

- ・あさくさ地域包括支援センター 出前講座や広報誌を利用した地域包括支援センターの周知強化。
- ・やなか地域包括支援センター 高齢者が利用する場所への地域包括支援センターの周知強化。
- ・みのわ地域包括支援センター 認知症の方や家族介護者支援の強化。
- ・くらまえ地域包括支援センター 独居高齢者の実態把握と地域包括支援センターの周知強化。

- ・まつがや地域包括支援センター 体操ができる場・機会を提供していく介護予防への取り組み。
- ・たいとう地域包括支援センター 高齢者の買い物支援方法の検討・試行。
- ・ほうらい地域包括支援センター 家族介護者(認知症)向けストレスケアプログラムの実施。

#### 【委員からの意見と回答】

・事業計画に異論はありません。今後 with コロナの状況が続くことを考えると、機材の不足や技術的制約、会議の性格などもあろうかと思いますが、可能な限り ICT を活用した会議や会合の開催の可能性を探ることも必要だと思われます。

・地域包括支援センターの周知強化、見守り等、介護予防への取り組みに期待します。

・P. 3 「やなか」：コンビニを利用したの周知は素晴らしいアイデアと思います。

・各地域包括支援センターの認知症総合支援事業の各項目の計画が、このコロナの中において実践・実施することは大変でしょうが、遂行できることを願っています。

・コロナ禍で対面の機会が減り、他の事業所のケアマネジャーとは Zoom での研修が増えた。Zoom での会議や研修のコツを考えさせられた 2 年だったので、包括のケアマネジャーの集いなどでコツについて話し合うもの入れてほしかった。

⇒(回答) どのような内容を取り扱うかは各包括の選択となりますが、包括的・継続的ケアマネジメント支援に結びつくような内容で開催していただいております。

・P. 1 1 ②高齢者のネットスーパーの利用については、人的支援が必要となり、いい方法があるといいと思います。

⇒(回答) ネットスーパーなど的高齢者の買い物支援について、利用講習会を試験的に実施し民間企業やボランティアとの関係を構築しているところでございます。今後、対象者や対象の地域を拡大していくことを目指しています。

・P. 1 3 ①具体的取り組み困難事例など共有して実践に役立てればよいと思いました。

・コロナ禍の活動、オンライン開催等ご苦労様です。

・あさくさ地域包括支援センターの介護サロン、やなか地域包括支援センターのコンビニ周知、全センターでの認知症サポーター養成講座など、ご努力を感じました。サポーター講座を終了された方が活動できる場もあればいいと思います。独居高齢の方もコンビニ・スーパー・金融機関は必ず利用されます。(町会も含め)連携できるような又意識だけでも持っていただけるといいかと思います。また周知という意味で学校、幼稚園などもいいのではないのでしょうか。

⇒(回答)認知症サポーターの方が中心となり、認知症の方やその家族のニーズに合った支援ができる仕組みの構築を検討しています。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、警察や消防、新聞販売店や宅配業者などの関係協力機関とともに見守りネットワーク作りに取り組んでおり、広く知っていただけるような方法についても検討していきます。

### ●地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について 資料3

令和2年度の取り組み・対応実績を国の定めた指標に基づき評価したものです。

前年度の調査結果を踏まえ、「高齢者虐待対応マニュアル」を改訂し、虐待事例の終結条件を定めることが出来ました。

また、家族介護者からの相談件数・内容を把握するために各地域包括支援センターの集計項目を追加・見直し、今年度(令和3年度)から運用を開始しております。

今後も可能な限り改善に向けて取り組んでまいります。

#### 【委員からの意見と回答】

・人員や資金の制約はありますが、全国平均との乖離の大きい項目の改善に重点を置くなど、今後ともメリハリをつけた取組を進めていただければと思います。

・P.1~3 コロナ禍で大変だったとおもいますが、全国平均と比較して課題と思われる点の取組を行って行ってください。

・新型コロナウイルス感染症等の影響が事業活動評価に及ぼしていることが分かりました。

・区全体では、包括的・継続的ケアマネジメント支援が他より劣っている原因は、地域の関係機関との連携や地域の介護支援専門員などとの連携の構築によるものか？または人員不足か？

⇒(回答)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務につきまして、評価項目が達成となるよう今後も検討を進めてまいります。

・「たいとう地域包括支援センター」の買い物支援の対策を見守りたい。

・P.1 コロナ禍の状況で区担当者、包括職員の方々のご苦勞により令和2年度に比し、令和3年度は改善傾向にあることを確認させていただきました。全国平均に比し地域ケア会議が多く開催されている点も台東区が関係機関と協力し、区民のためにという姿勢のあらわれだと思います。引き続きお願いいたします。

・7包括すべてにおいて包括的・継続的ケアマネジメント支援が全国平均と比較して低かった原因の一つに包括がZoom活用の環境や技術が低かったのではないかとと思われる。

・P.3 <全国平均との乖離が大きい項目>①、②の原因がはっきりしているので、改善は可能。

・P.16 90Q43、95Q47、103Q51 コロナ禍の開催に苦慮されたと思います。

・コロナ禍のご苦勞を感じました。今年度は少しずつでもZoomなどを試されるのでしょうか？

⇒(回答)新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、また、会議の特性や有意性を考慮し今後も開催方法を検討してまいります。

#### ●指定介護予防支援事業所の指定更新について 資料4

令和4年5月31日に、ほうらい地域包括支援センターの指定介護予防支援事業所の指定有効期限が満了となります。運営法人の社会福祉法人清峰会より更新の申請がありましたのでご報告いたします。

なお、他6か所の地域包括支援センターは開設時期が異なることから、令和6年3月31日に指定有効期限の満了となり、更新申請が必要となります。